

## 「ROOTomics を利用した環境レジリエント・キー遺伝子の探索」

宇賀 優作（農研機構作物研究部門 グループ長）

世界人口は増加の一途を辿る一方で、地球温暖化・砂漠化・環境汚染によって耕作可能面積は減少し続けており、持続可能な食料生産に向けて環境ストレスに頑健な品種の育成が不可欠である。環境ストレスとして特に問題となっている干ばつや塩害は地下部の根が影響を受けるため、根系の改良が環境ストレスに頑健な品種の育成に有効である。そこで我々は根系に着目し、環境ストレス条件下におけるフェノーム・トランスクリプトーム解析を通して環境レジリエント・キー遺伝子の探索を進めている。本発表では自然界および自然界を再現した人工環境下における解析から見えてきた、干ばつストレスに対する頑健性に関わる遺伝子群について紹介する。